

図 7. 医師との連携の有無、隔離室の有無について
 ～調査施設のほとんどは医療機関併設型である～

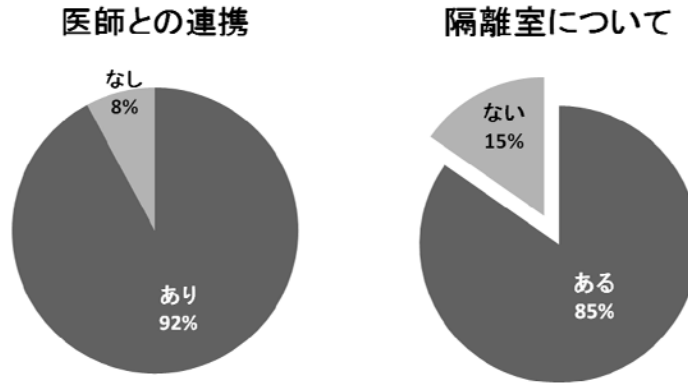


図 8. 利用できる対象児別施設数

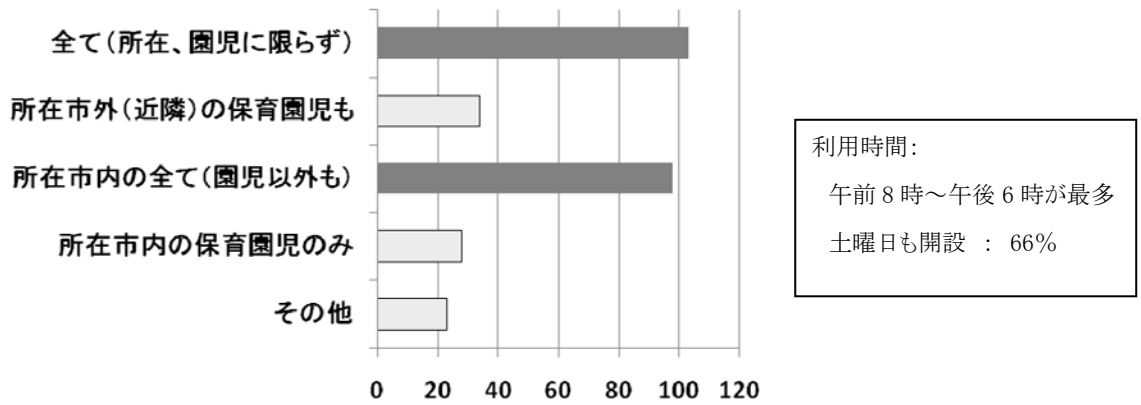


図 9. 給食の有無とその方法

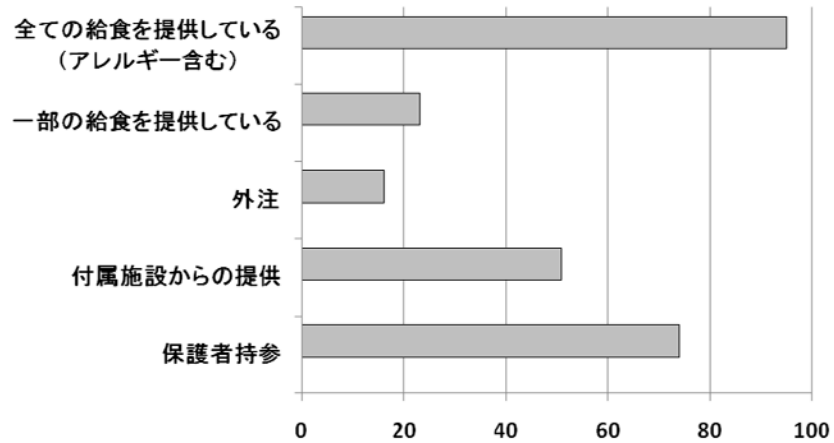


図 10. 徴収する利用料金／1日あたり

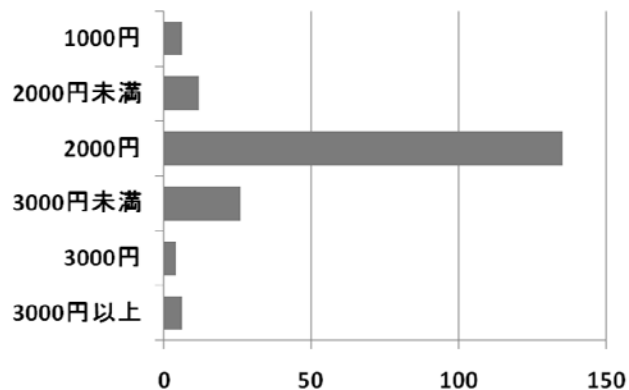


図 11. 利用予約キャンセル料および病児保育を対象とした保育保険への加入について

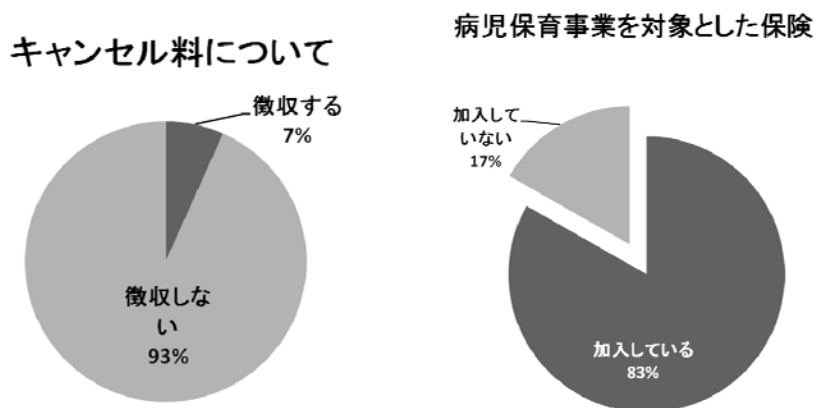


図 12. 補助金の金額について(平成 19 および 20 年度)

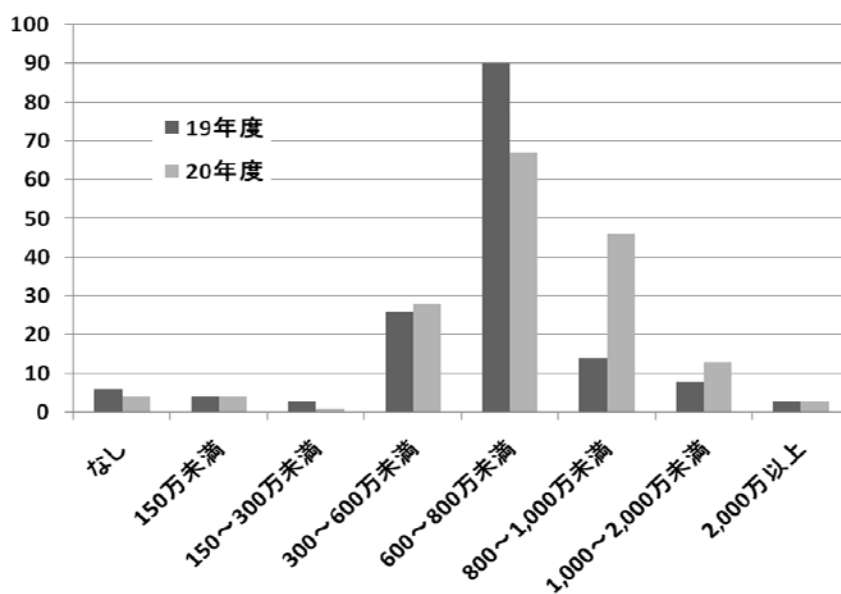


図 13. 運営収支の割合と赤字の場合の主たる原因



図 14. 年間赤字金額について

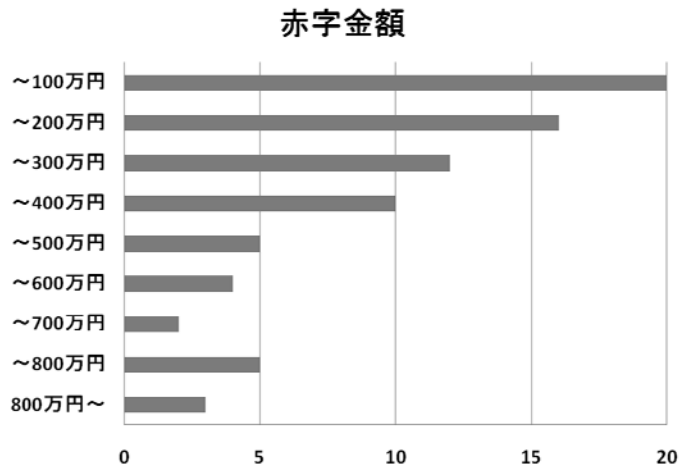
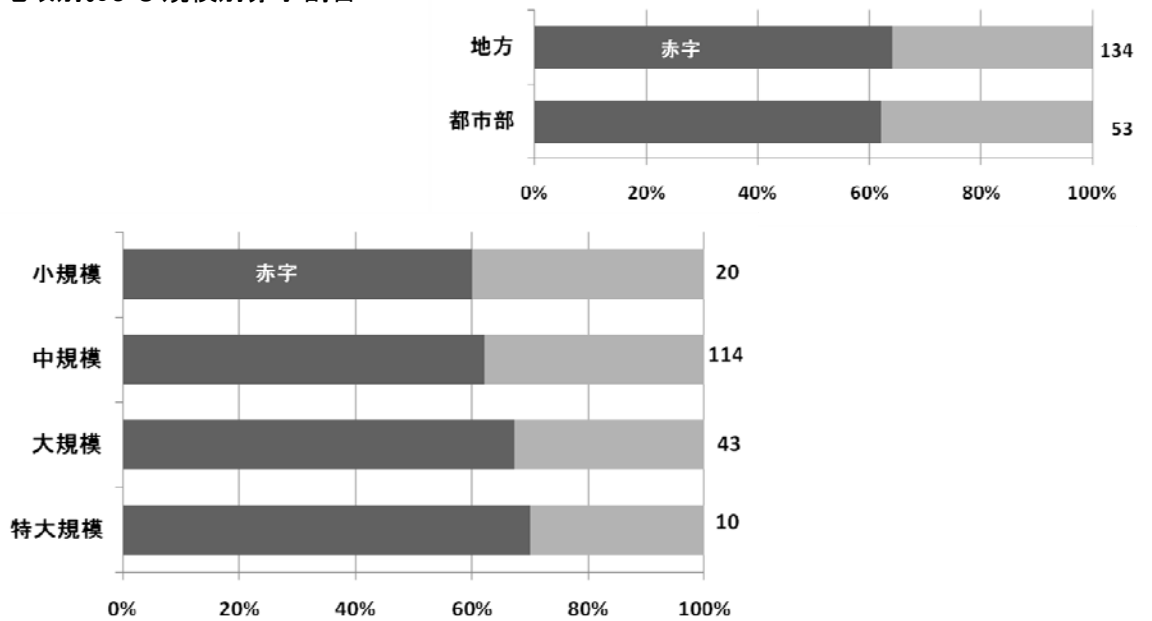


図 15. 地域別および規模別赤字割合

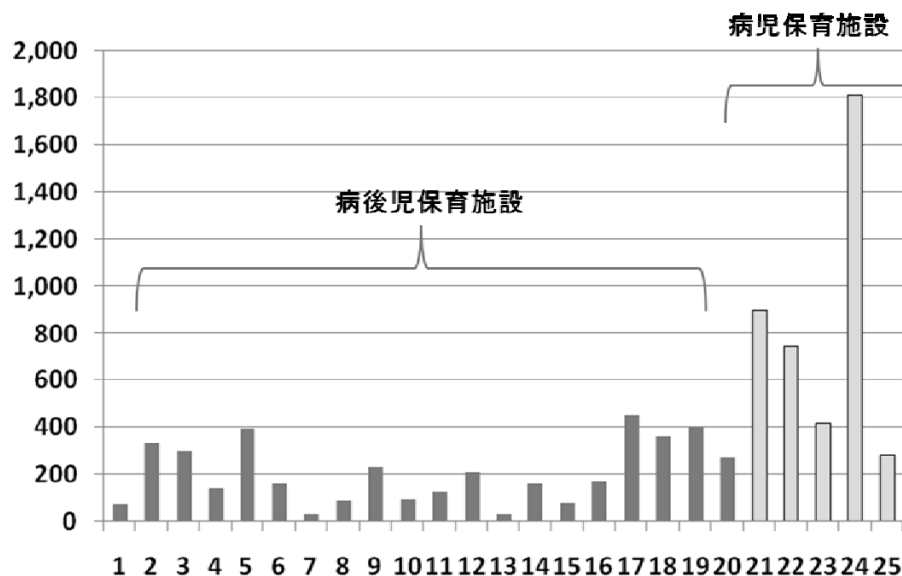


3. 地域における病児保育、病後児保育事業数と利用実績(大阪市の場合)

(大阪市の場合:平成6年にモデル事業を開始、委託機関は乳児院、医療機関が主であったが、平成16年度から公立保育所を中心として実施施設数を増やし、平成20年度は25か所、利用実績8,279人となっている。人口262.8万、0~4歳10.6万人、4.1%)

図16. 大阪市内における病児保育施設別利用数(平成20年度実績)

1施設平均利用実績 病児保育: 831/年、病後児保育: 208/年



4. 病院併設型病児保育室の利用状況と稼働実態について

(中野こども病院付設「きしゃぼっぼ」大阪市の場合)

図17. 月間稼働状況と新規登録者の利用割合

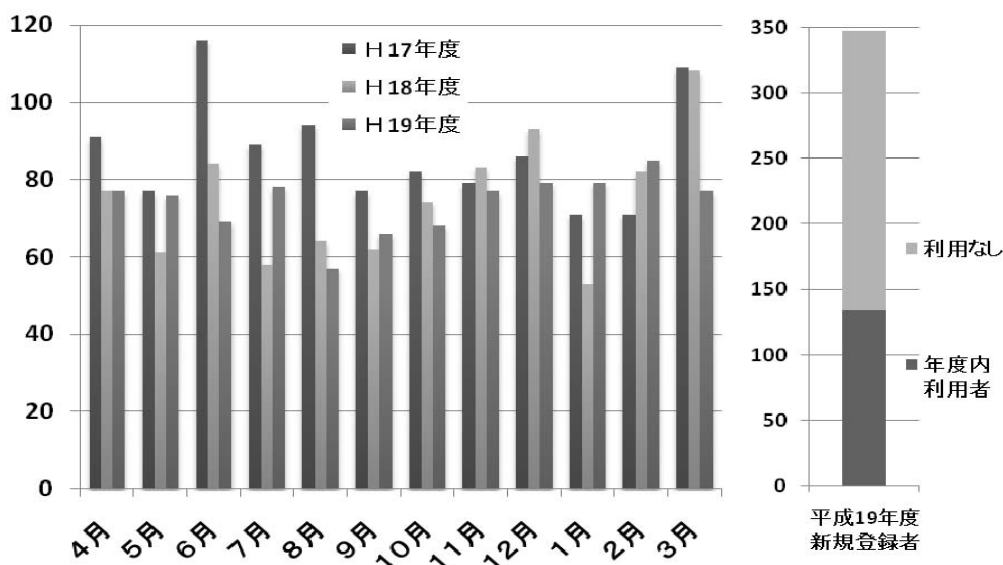


図 18. 年齢別利用者数

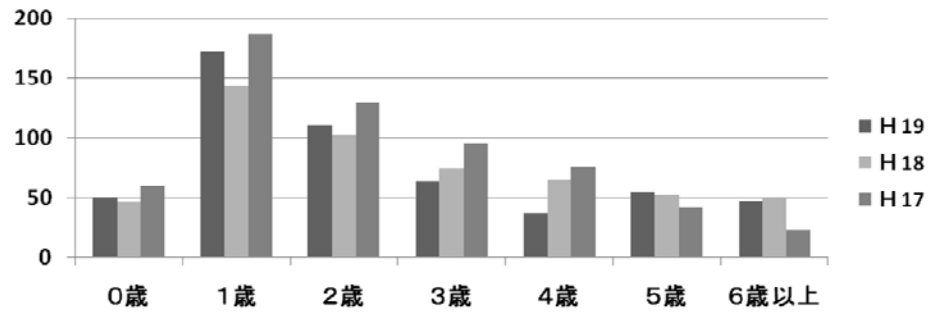


図 19. 1回あたりの利用日数

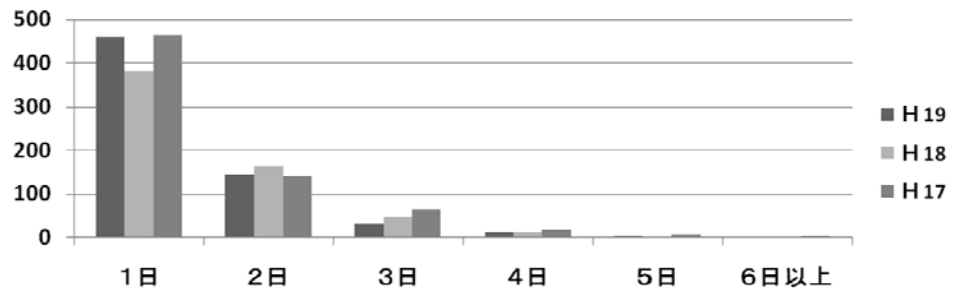


図 20. 1日あたりの利用人数 年間稼働日数 295日(土曜日含む)

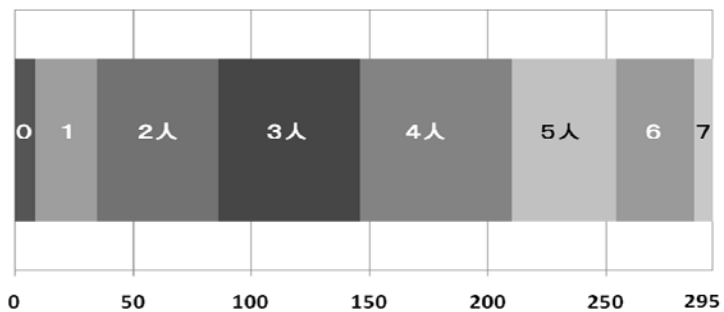


図 21. 病児保育利用者の翌日予約と当日予約キャンセル率

